

ころ柿コース散策&座禅体験

皆さん、こんにちは。峡東地区の和唐です。峡東地区では毎年1回日本語受講者と会員達のレクレーションを行っています。今年は何にしようかと定例会の時、会員達が案を持ち寄りました。開催が晩秋のこともあり、峡東地区の甲州市はころ柿作りが盛んなので、その見事な干し柿を見学したらとの意見と座禅体験もおもしろいということでこれに決定しました。開催の3週間ほど前に会員2名が甲州市で推薦しているころ柿コースの下見、及び昼食に使う蕎麦屋さんの場所の確認等を行いました。そして当日、天気がよいことを祈ってレクレーション当日を迎えました。



11月20日の土曜日、暖かく快晴でまさに行楽日和だ。良かった。会員3名が午後の座禅の会場である恵林寺の駐車場に送迎用の2台の車を置いた。もう1台で甲州市役所に行き、車を置いてから、受講者の集合場所の塩山駅北口に受講者2名と会員7名が10時ごろ集合した。まず最初に駅近くの甘草屋敷に行き、外から柿の干されているのを見学した。そのあと向嶽寺に行った。整然とした向嶽寺の境内を歩いた。掃き清められて気持ち良かった。このあと、ころ柿コースを散策した。あちこちの家の庭先で柿が干され、土塀の家あり、古民家ありで、日ごろ私達も車で通り過ぎてしまうので、新鮮で心癒された。1軒、大きな屋敷を覆うように柿が干されていて、これはとても見事だった。他の観光客も来ており、銘々に写真を撮ったり、柿を買ったりしていた。ころ柿コースの散策で2時間ぐらい歩いた後、今日のお昼の予定の“そば丸”に場所を移した。



ここは古民家を改造した土塀の家でなかなか雰囲気の良い店である。混雑しており、9人が一緒に食事がとれるテーブルはあいていなかったが、2グループに分かれ、みんな好きな物を注文して食べた。昼食後は恵林寺に向かった。広いお堂に通され、そこでお話を聞いた後、30分ほどの座禅を体験した。私も初めての体験であったので、少し緊張して目をつぶったが“喝”と言われることもなく座禅を終わることができた。ただ、お堂は広く、少し寒かった。座禅が終わった後、恵林寺の中を見学した。見学後、車で塩山駅まで戻り、解散した

今回は座禅が宗教上の問題で受講者の参加が少なかった。しかし、レクレーションでもない限り、他の会員の受講者と話をする機会もないので今後も続けて行きたいと思っている。